

ながの軽トラ市の実施 (ながの軽トラ市実行委員会)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

農家と商店会が協働で、中心市街地の活性化に取り組み、楽しく暮らせる街づくりを目指す。
また、地域住民や学生にも積極的に参加を促し、住民のふれあいの場となるようなコミュニティを形成するとともに、観光客へも地域の魅力をPRすることを目的として、市街地で軽トラックを利用した朝市を開催する。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

- 篠ノ井駅前通りを歩行者天国にし、新鮮な野菜や加工品を中心に軽トラックを利用して販売する朝市を5月から11月の第4日曜日に開催し、農家と商店会、地域住民の交流を図る場を創出した。
- 農家はお客様とコミュニケーションをとりながら販売することで意欲や意識向上が図られる一方、開催場所である商店街は賑わいが創出され新たな顧客獲得の機会が得られるなど、新たな地域活性化に向けた事業となるよう農家と商店会が協働して実施した。

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H23	ながの軽トラ市の実施	篠ノ井駅前通りで、軽トラックを利用した朝市を開催	3,354千円
H24	ながの軽トラ市の実施	篠ノ井駅前通り及び長野市中央通りで、軽トラックを利用した朝市を開催	2,548千円

最近の活動内容

- 5月～11月の第4日曜日（7月を除く）、篠ノ井駅前通りで、軽トラックを利用した朝市を開催。
今年度で4年目を迎え、出店者も増え、篠ノ井商店街の大きなイベント事業に育った。
- 毎回、さまざまなイベント（演奏・踊りなど）を取り入れ、誘客のために努力している。
また、スタンプカードを発行し、年間4回軽トラ市に来られたお客さんを対象に、最終の11月にくじ引き（空くじなし）を行い、商店会提供の商品を景品としてプレゼントしている。



【軽トラ市の様子】

取組の効果

- 地域の人々が毎月楽しみにしていることや、県外（静岡・山梨など）からの出店者が参加するなど、新たな交流や観光誘客に繋がっており、地域活性化に役立っている。
- 消極的だった商店会組合も自分たちが主催者になり、事業を進めるようになった。
- 県内外の団体が視察に訪れているほか、他地域でも軽トラ市が開催されるなど、事業効果の広がりが見られる。



【販売の様子】

課題、今後の事業展開など

- 地域の内外に認知され、出店者・来場者ともに増加傾向にある。また、インターネットでのPR効果もあり、全国の自治体や団体からの視察や問合せがますます後を絶たない。
- 主催者の商店会と、様々なアイデアを出し合い、将来に向けて規模を拡大していきたい。

団体名	ながの軽トラ市実行委員会	
連絡先	026-285-9701	(長野市)
ホームページ	http://keitora.naganoblog.jp/	